

Trains and planes seen in Chiba

ちばで見も 電車&飛行機



千葉県PRマスコット
キャラクター チューパくん
千葉県許諾 第A3-14号

第3回



●京成スカイライナー
(AE形)

●3100形
3000形7次車(3050形)
3000形

スカイライナー AE形 成田スカイアクセス線(千葉ニュータウン中央駅)

ちばで見よ 電車&飛行機



シティライナー(成田山開運号)
京成本線(実籾駅~八千代台駅間)

時速160kmで走る空港特急3代目京成スカイライナー

スカイライナー AE形

スカイライナーは、京成上野駅と成田空港駅間を運行する空港特急です。

成田スカイアクセス線を経由し、日暮里駅から空港第2ビル駅までを最短36分(*)で結びます。最高速度は時速160km。

現在活躍している車両は3代目スカイライナー。2010年の成田スカイアクセス線の開業に合わせて登場しました。空港輸送の原点に回帰する意味を含め、初代スカイライナーと同じ「AE形」(Airport Express)と名付けられました。

車両のデザインは、世界的に著名なファッションデザイナー・プロデューサーの山本寛斎氏によるもので、外装のデザインコンセプトは「風」。日暮里から空港第2ビル駅までわずか36分という最速の運び手のスピード感、颯爽に走るイメージを表現しています。

カラーリングは日本古来の伝統色である「藍色」をメタリックにアレンジした「ウインドブルー」と、これを引き立たせる「ストリームホワイト」で塗り分けられています。

内装のデザインコンセプトは「凜」で市松模様や白・藍染の色を使用し和を意識しています。

このスカイライナー、早朝の上り列車と夕方以降の下り列車については名前を変えて、それぞれモーニングライナー、イブニングライナーとして、同じ車両を使い京成本線経由で通常とは異なる運行を行っています。空港へのアクセスだけでなく、快適な通勤のための車両としても活躍しています。

*日暮里駅~空港第2ビル駅間のスカイライナーの最短所要時間です。

参詣列車「シティライナー(成田山開運号)」

スカイライナー車両(AE形)に隈取のヘッドマークを付けた「シティライナー(成田山開運号)」は、大晦日の夜から元日の朝にかけての終夜運転時と1月中の土曜・休日ダイヤ実施日に成田山新勝寺への参詣列車として各日上下各1本臨時運転されています(22年末は未定)。



スカイライナー AE形
成田スカイアクセス線
(印西牧の原駅~印旛日本医大駅間)

AE形(初代) 日本初の空港特急、 初代スカイライナー

成田空港線開業に備えて製造された日本初の空港特急車です。1978年の成田空港の開港に先駆けて、1973年12月から京成上野~京成成田で運行を開始。登場時はマルーンとクリームの2色塗り。1983年からは塗装を塗り替えてイメージアップを図りました。最高速度は時速105km。



AE 100形 成田空港直下への乗り入れに 合わせた2代目スカイライナー

1991年の成田空港ターミナルビル乗り入れ(現・成田空港駅)に備えて製造されたのが2代目スカイライナーとなったAE100形車両です。流線形上のボディに、初代AE形のカラーコンセプトをベースとして「鳥の翼」をアレンジしたカラーリングとなっています。最高速度は時速110km。





3100形 成田スカイアクセス線(印西牧の原駅~印旛日本医大駅間)

成田スカイアクセス線や京成本線を走る京成電鉄の通勤型車両

3100形・3000形7次車(3050形)・3000形

3100形 成田空港へのアクセスを担う新形式車両

新京成電鉄(80000形)と共同開発した京成グループの新しい標準車両です。外觀デザインは、先頭形状に絞りや折りを取り入れたほか、急行灯・尾灯は上部から降りてくるラインに合わせ、シャープな形状としています。

ボディーカラーに成田スカイアクセス線の案内カラーであるオレンジを取り入れ、成田スカイアクセス線を走行することをより分かりやすく表現しています。8両編成。最高速度は時速120km。

3000形7次車(3050形) 成田スカイアクセス線の開業と共に登場した通勤型車両

2010年に成田スカイアクセス線の開業に合わせて登場した車両です(※)。2019年10月に3100形の登場に合わせて成田スカイアクセス線の案内カラーであるオレンジへとボディーカラーを変更すると共に、イメージイラストを追加した新デザインでの運用を行っています。8両編成。最高速度は時速120km。



旧カラーの
3000形7次車(3050形)

※デビュー当時は、ボディーカラーを空をイメージさせる青色とし、車体と座席シートに航空機の模様と航跡を描きました。



3000形7次車(3050形)
成田スカイアクセス線(新鎌ヶ谷駅~西白井駅間)

3000形 京成グループの標準車両

2003年に登場。通勤型車両の主力として活躍する車両です。

北総鉄道(京成高砂~新鎌ヶ谷)の開業に合わせて登場した通勤型車両である3700形を設計のベースとしつつ、時代のニーズに合わせた車両となっています。前面中央には大型の行先、種別表示器を搭載。貫通扉を車掌側に寄せ、運転室ガラスを左右方向に拡大しています。編成は6両・8両。最高速度は時速120km。



3000形 京成本線(実籾駅~八千代台駅間)

京成電鉄の車両を撮影できるポイントをご紹介します

●新鎌ヶ谷駅~西白井駅間

北総線および国道464号をまたぐ風間街道の歩道橋から撮影。午前中は下り列車が順光で撮影することができます。



スカイライナー AE形

●京成臼井駅~京成佐倉駅間

佐倉市江原台の「臼井第4踏切付近」から撮影。午前中は下り列車が順光でキレイに撮れます。佐倉ふるさと広場の風車と一緒に撮るのがオススメです。



3000形

●千葉ニュータウン中央駅

~印西牧の原駅間

県道189号、大型ホームセンターそばの歩道橋から撮影。上り列車をフェンスの隙間から縦位置で撮影することができます。



3100形

京成電鉄車両基地で開催 「京成電鉄宗吾車両基地キッズフェスタ」



▲普段入ることのできない工場内も見学できます

◀車両の中でいろいろな質問にも答えてもらえます

京成電鉄では年に一度、小学生以下の子供とその保護者を対象に「京成電鉄宗吾車両基地キッズフェスタ」を開催しています。2年前から、新型コロナウイルス感染防止のため、体験型イベントを控えるなど規模を縮小し、「けいせいキッズデー」として開催されました。

場所は千葉県印旛郡酒々井町にある京成電鉄の宗吾車両基地。お客さまが密とならないよう、各回200名、計800名(小学生以下のお子さまとその保護者)を対象に実施されました。

当日は800名のうち200名限定で京成上野駅から宗吾車両基地までスカイライナーに乗って参加する回がありました(お申し込み要・有料)。会場では、鉄道ファンにはたまらない普段入る事が出来ない工場内の見学や仕事内容などに関するクイズラリーが行われ、楽しく鉄道を学ぶイベントなども行われました(お申し込み要・無料)。

今年の開催予定は今のところ未定ですが、新

型コロナウイルスの様子を見ながら、ご来場者の皆さまの安全を第一に考えながら、楽しんでいただけるイベントの開催を目指しているとのこと。くわしくは京成電鉄のWebサイトをご確認ください。



▲車両の並んだ、ここでしか見られない風景

- 開催日/未定
- 本イベントに関わるお知らせは、詳細が決まり次第、ニュースリリース等にて行わせていただきます。

Recommended Gourmet ★おすすめグルメ

成田山新勝寺の参道にある 抹茶スイーツのお店「茶和々(さわわ)」

京成成田駅から成田山新勝寺に通じる参道は、毎日のように多くの方々を訪れ、道の左右には多くの飲食店や雑貨屋が並んでいます。茶和々(さわわ)はその参道にある小さなお店。抹茶スイーツの専門店です。

宇治の抹茶にこだわり、人気のわらび餅をはじめ、バームクーヘンやどらやき、ヴァッフェルまで、さまざまな抹茶スイーツを提供しています。店の前を通ると濃厚な抹茶の香りが漂い、つい立ち止まってしまいます。



・抹茶本わらび餅(250g)
¥648(税込)



・宇治抹茶どらやき
¥248(税込)
・お濃茶ミニバームクーヘン
¥302(税込)
・ほうじ茶ヴァッフェル
¥184(税込)
・宇治抹茶ヴァッフェル
¥184(税込)

抹茶スイーツ処 茶和々 成田店

成田市仲町378 TEL.0476-94-5750

●営業時間/9:30~17:00 無休 (時季により変動有り)

「ちばで見る電車&飛行機」今月の誌上クイズ

※答えは、京葉銀行のホームページにある、「ちばで見る電車&飛行機」の第3回をご覧ください。



2010年の成田スカイアクセス線の開業に合わせて登場した3代目スカイライナーに名付けられた「AE」は何の略でしょうか？ 次の3つの中から正解を1つ選んでください。

- ①Air Engine (エア エンジン)
- ②Airport Energy (エアポート エネルギー)
- ③Airport Express (エアポート エクスプレス)

取材協力・撮影協力・写真提供/京成電鉄、茶和々成田店

確かな「きずな」を、未来へ。



京葉銀行

ホームページでもご覧いただけます。

京葉銀行 情報誌

検索

LINEからも「ちばで見る電車&飛行機」を配信しています。

LINE 公式アカウント



正解は→③Airport Express (エアポート エクスプレス)

2022.3
(次回発行/2022年4月20日)